

若草だより

平成 27 年 1 月 第 16 号

発行元：医療法人若草会広報委員会

<若草会理念>

私たちは思春期青年期を中心的に治療するスタッフとして

1. ご家族、住民の皆さまなどの協力と支援を仰ぎ、関係諸機関との連携を密にしながら
2. 全員が治療チームとして協働し
3. 成長過程にあるクライアントの「人間としての尊厳」を大切にしながら、その「悩みに真剣にかかわり、ともに考えていく」医療を目指します。

祝 院長先生傘寿のお祝い



院長先生が11月に80歳を迎えられました。

職員一同より、院長先生のお祝いを贈りました。



フィオーレバザーの報告

平成 26 年 11 月 22 日 (土) に毎年恒例の家族会フィオーレバザーを開催しました。今回のバザーは新しい試みをいくつか行ったのでそれをご紹介します。

その①抽選券つきチラシの配布。地域にお住まいの方にも来て頂く為に、抽選券つきのチラシを 200 枚ほど印刷し、全て配りました！

その②喫茶コーナーの設置。休憩所として、またはお連れ様を待っている間に、コーヒーを飲めるコーナーを作りました。当日も多くの方がご利用されていきました！

その③抽選券によるくじ引き。チラシについていた抽選券をお持ちの方に限り、スプーンを使っての、お菓子のすくい上げに挑戦して頂きました。皆様、笑顔で挑戦され、盛り上がっていました！

新しい試みは、どれもご好評いただいております、これを基に 27 年度のバザーも改良を重ねて行きたいと思っております。

バザーの商品をお持ちいただいた皆様・開催のためのご協力いただいた家族会の皆様には、一同心より感謝を申し上げます。

今回の収益金は、フィオーレのバスレクリエーション等の費用に使わせていただきます。



第2回まきはら院内学会 報告

平成26年12月7日の日曜日、100名近い職員が集まり、「第2回まきはら院内学会」が開催されました。今年も昨年に引き続き、14名の職員がそれぞれ「患者さんから学んだこと」というテーマで発表を行いました。精神科の病気は、いやがおうなく、その人の生活や人生を巻き込んでしまいます。ですから、私たちも、病気の症状だけを見ては、患者さんの思いに応えることはできません。医師、看護師、ケースワーカー、OT、受付など、それぞれの職種の専門性は、人と人との関係という土台のうえに発揮されなければならないというのが、まきはら病院の伝統的な姿勢です。そして、そうであるがゆえに、私たちもまた、患者さんとの関わりから、専門職としての学びだけでなく、人としての学びや発見をさまざま



まに得ているのです。この院内学会は、そのことを再確認し、気持ちを新たに明日へ臨むために開催されるものです。人と人が関わる場所には、必ずドラマが生まれます。どんなにささいな関わりであっても、それは患者さんにとっても、私たちにとっても、かけがえのない大切な“人生のひとコマ”なのだとすることを忘れずにいたいと思います。

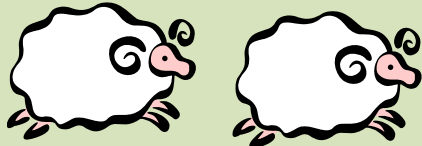
教育委員会 原田雅史

まきはら病院・家族会 合同勉強会 ご案内

日時：平成27年2月22日(日)
13時～16時30分
場所：小郡まきはら病院

★会場は昨年度と変更になって
おります。気をつけて下さい。

★事前に申し込みが必要です。
お問合せは 病院ケースワ
ーカー又は とまり木 猪俣ま
で。



1. 基調講演

『(仮) 障がい者を地域で支える～保健師の役割』

山口健康福祉センター

保健師 中司ひかり氏

山口市障がい者基幹相談支援センター 保健師 鱸南富美子氏

2. 分科会

① 精神科臨床の今と未来 (講師:臨床心理士 原田雅史先生)

② 自立について考えよう

③ 保健師さんと話そう

④ 薬について

⑤ 家族会主催グループ(1) 先輩家族に聞いてみよう

⑥ 家族会主催グループ(2) 家族の立場から話してみよう

小郡まきはら病院 病院案内

診療科：精神科

診察時間：9：30～17：00

休診日：日曜日、祝日

*診察は予約制となっております。初めて診察を希望される方は、事前に電話でお問い合わせ下さい。

住所：山口市小郡若草町3-4

TEL：083-973-0222 (病院代表)

FAX：083-973-4323

ホームページ：<http://www.makihara.or.jp/>

*関連施設

就労移行支援事業所

就労継続支援B型事業所

生活訓練事業所

共同生活援助事業所

心療内科・精神科

レストラン フィオーレ

とまり木

カーサ若草

若草クリニック